

「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（素案）」について

このように食品ロスが、世界的な問題になったのも、そもそも私たち人間の暴力的な発展によって、人間唯一の住処である地球が悲鳴をあげているからです。今、人間最大の危機、大ピンチであるとみんながわかっているのです。環境問題を思うと、特に私たち食に関わる人々は、とても辛い気持ちになります。普通のひとでも感受性があればそれは同じでしょう。そして、今の日本で、ひとりの人間として何もできない力のなさを思い、危機感をかんじながら、さらなる進化を使命に、知らぬ顔をして日々を送っていると暗い気持ちになるのです。特に若い人たちにとっては、暗い未来を思うと切ない気持ちになるでしょう。不安だと思えます。

この大ピンチをみんなでしっかり共有して、改善に向かい心を一つにして目標を持つことはできないでしょうか。そうすればピンチは、チャンスになると思えます。一緒にやろうって、国民運動にできると思えます。できるかできないかわからない、でもみんなが一緒にやるというだけで元気になります。「明るい気分」にしてほしいのです。みんなが未来のためにリスクを取ることです。どんな形であっても未来に希望を持たせてくれれば、きっと明るい気持ちになると思えます。